茶木みやこ・プロデュース

津山加茂郷コンサート

第20回 津山加茂郷フルマラソン全国大会
OFFICIAL SUPPORTING ACT

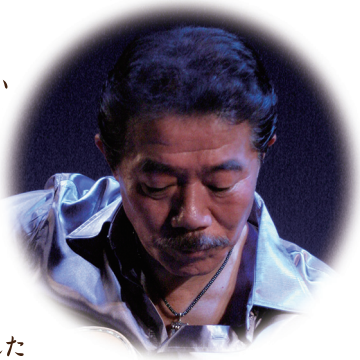
2012.4
14 ±
18:00 OPEN　18:30 START
津山市加茂町文化センター エスペリア

出演者プロフィール

茶木みやこ　シンガー・ソングライター

1970年、ピンクピクルスを結成。ラジオ番組で放送された曲「僕にさわらせておくれ」にリクエストが殺到し、同曲にて71年3月レコードデビュー。茶木の作曲による話題作「一人の道」などを発表し、1年間活動の後、ピンク・ピクルスは解散。同時にシンガー・ソングライター、茶木みやことして、ソロ活動を開始した。
74年「泪橋」をリリース、77年まで、頭脳警察、四人囃子、ウエストロード ブルースバンド、ゴダイゴなどのアーティストを交えてアルバムを制作するとともに、シングル盤を相次いで発表した。
また、テレビCMや映画などの音楽担当もこなす一方、76年にはNHK『みんなのうた』で「美山の子守唄」、77年には毎日放送と角川春樹事務所の企画のテレビドラマ界の伝説とも言える『古谷一行の金田一耕助・横溝正史シリーズ』では、主題歌「まぼろしの人」、「あざみの如く棘あれば」を歌うなど、映像メディアでの活動も展開した。
2001年に斎藤ノブのプロデュースのもと、アルバム「Love is enough」を発表し音楽活動を再開し、次いで03年、「miyako」を発表、斎藤ノブとライブツアーを行った。08年、柳田ヒロのアレンジで「あるよ·ね」発売。さらに柳田ヒロ、園山光博とライブ活動のほか、桑名正博、斉藤哲夫、笑福亭鶴瓶、高田渡、下田逸郎、中国一級揚琴奏者の沈兵ほかと共演するなど、幅広いアーティストやタレントとステージをともにして、音楽活動を広げている。
なお、2010年11月には久世エスパスホールにおいて、桑名正博と「第25回国民文化祭おかやま2010」ジョイント・コンサートにも参加している。

石川鷹彦　ギタリスト、アレンジャー



フォークといえばアコースティックギター、アコースティックギターといえば石川鷹彦、というぐらい数々の名イントロ・フレーズを生み出してきた。
1968年同じ多摩美術大学の小室等とともに六文銭を結成、初期メンバーとして「さよならだけが人生ならば」などを発売。その後、吉田拓郎、かぐや姫、風、イルカ、アリスなどのバック・ギタリストとして1970年代のフォーク、ニューミュージックシーンにおいて数多くの名演を残す。
その一方では、「22才の別れ」、「なごり雪」、「秋止符」、「秋桜」、「安奈」、「大空と大地の中で」など名曲の編曲者として名を連ねる。
90年代以降は、さだまさしの専属バックギタリストとしての活動のほか、2006年にはつま恋で行われた『拓郎 & かぐや姫』のコンサートにも、バックメンバーとして出演。また、アコースティックギター・インストによるライブ活動、アルバム発表など、ソロの活動も活発に展開している。

細井 豊　ピアノ、キーボード、アコーディオン、ハモニカほか

1973年に結成されたロックグループ「センチメンタル・シティ・ロマンス」のメンバーで、鍵盤楽器を中心として多種多彩な楽器を弾きこなし、ヴォーカルもできるマルチプレイヤー。
75年に細野晴臣プロデュースのもと、アルバム『センチメンタル・シティ・ロマンス』を発表しデビュー。2011年8月10日にニューアルバム「やっとかめ」を発表まで、計18枚のアルバムをリリース。
一方、自らのバンドの活動とともに、センチメンタル・シティ・ロマンスあるいは細井豊が個別にサポートしてきた数々のアーティストからの信頼は厚く、加藤登紀子、伊勢正三、竹内まりや、薬師丸ひろ子、中島みゆき、EPOなどのバックバンドとしてライヴ及びレコーディングで活躍。
また、太田裕美、大野真澄、伊勢正三のフォークユニット「なごみーず」にも参加している。

チケットなどのお問合せ

津山市加茂町文化センター 電話：**0868-42-7031**
つやまコンサート事務局 電話：**0868-27-2127**、ピアノ工房アムズ 電話：**0868-27-2100**
チケットは上記のほか、津山市役所6階の津山市都市整備公社および地下売店でもお求めいただけます。